

水稲の状況

今年の水稲作付面積は、現段階で700.9haと昨年比で15.8ha減少する見込みです。国の政策である「水田経営所得安定対策」や「産地確立交付金」の影響などもあり、集落営農で取り組み易い水稲直播栽培の面積が増加しており、本年の直播栽培面積は36haと、昨年比に比べ4ha増加しています。

移植栽培については、5月中旬の強風や乾燥による影響もありましたが、その後の生育状況についてはほぼ順調に進んでいるところであり、今後の生育と秋の収穫に期待をしています。

村防霜対策本部

4月8日に設置し、霜に対する注意を行っています。

現在までに霜による被害は、ブロッコリーが1.3ha、カボチャが30ha、加工トマト1ha、たらの芽が1.5ha、葉たばこが2haの被害の報告を受けています。

有害鳥獣捕獲隊

4月15日に捕獲隊員24名に委嘱状の交付を行い、ここ数年で農作物の被害が急激に拡大している、猿、イノシシ等の有害鳥獣対策を協議しました。

今年も昨年と同様に、毎週1回の定期活動と農作物の被害が開始する7月初めから10月下旬まで二人一組の班を編成して頂き、被害が予想される地域を重点的にパトロールや箱わなの設置による捕獲活動など、被害を未然に防止するよう捕獲隊の協力を頂くことにしています。

中山間地域等直接支払事業

4月27日に推進協議会総会が開催されました。今年度で最終年度となることから、13集落の事業要件達成に向けて、状況の確認、支援指導を行うこととしています。

企業立地支援事業

5月14日に(株)菊池製作所第6工場の竣工式が行われました。この厳しい経済情勢の中ではありますが、今後、同工場の生産性向上に伴い、雇用増や村民の就労の場になるものと大いに期待しています。

待っています。



▲第6工場の竣工式の様子

村単独緊急経済・雇用対策事業

村内に於いても、撤退・あるいは規模縮小により、失業者が出ておりますし、職種を問わず経営危機に陥る企業が増えていくことから、先の臨時議会において「村単独緊急経済・雇用対策」を決めていただき、事業に着手したところです。

「企業支援奨励金」ですが、2回に分けて交付を行いました。第1回目は5月12日に29社に対し、1607万9180円、第2回目は6月5日に13社に対し、254万4120円を交付しました。これは平成20年度の固定資産

税納付額を基礎に奨励金を交付するもので、交付対象企業47社に対し奨励金の交付事務を進めてきたもので、努力をされている企業に対し経営の一助となればと願うところです。

「中小商工業離職者再雇用促進奨励金」ですが、5月末時点で3社4名分の申請があり、144万円を交付しました。これは事業主の都合で解雇となった方の再雇用を支援するもので、該当される企業にはぜひ利用いただきたいと考えています。

ふるさと雇用再生特別基金事業並びに緊急雇用創出事業

国の基金事業を受けて実施しており、第1次の有害鳥獣対策、IT学習支援、民有林資源調査、ツツジの森整備、まぐい環境美化、プラスチック製品分別、学校図書データベースなど7事業、総事業費3,125万円を進めています。

第2次の追加対策として、農林道環境整備、飯館牛肥育技術習得事業など6事業、総事業費1389万円の要望を提出しています。

飯館村産地形成促進施設

もりの駅「まのころ」

3年目を迎え、計画に沿ったまずまずの実績となっているところ。店に出される農産物も、「まのころ」での販売を視野に入れた作付けがされているようで、品揃えや種類、量ともに研究され、昨年以上に充実しています。

生産農家を始め関係者の協力により、新たな加工食品の販売などを進めながら、更なる集客及び売上向上に努めているところです。

「マイはし」運動の推進

平成20年度より『マイはし』は地球を冷やすをキャッチフレーズに、地球温暖化防止の運動を実施しており、今までマイ箸作り教室を開催し、村民の皆様や村役場職員・家族がマイはし作りに参加、普及を図ってきました。

5月12日には、飲食店組合の皆様と打合せを行い、村内飲食店にもマイはしの普及促進をお願いしています。具体的には、

8月のお盆前には各飲食店に「マイはし」を置いていただけよう協力、普及を図る予定です。

現在、役場の職員への出前には割り箸を付けないように、飲食店組合と話し合いをして決めて頂いたところです。その他の会合等においても、食事を頼んだ際には、割り箸を付けるのではなく、「エコはし」を使うよう進めています。

森林環境基金整備事業

アカマツ林の間伐事業が主であり、平成21年度は飯樋4地区、小宮、比曾、長泥、蔵平の8行政区の区域内108haを予定しています。

4月27日には事業主体である福島県相双農林事務所森林林業部より行政区長への説明を行い、現在までに6行政区の集会所で地権者への説明会を開催したところです。今後とも事業のPRに努め事業の推進を図っていきたく思います。

教育委員会関係

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴う

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、平成20年度教育委員会業務にかかる評価報告書を作成しています。なお、今年度より「教育委員会だより」を発行することとなりました。おおむね月1回の頻度で、学校教育、社会教育等、教育全般に関する情報をお伝えしていきます。

また、5月27日には中体連陸上競技大会が行われ、飯館中学校から出場した個人5人と男子リレーが入賞、うち3人が7月に行われる県大会に出場することになりました。日頃の先生方の熱心なご指導の賜物とたいへん喜んでいきます。

はやま湖駅伝

4月29日に大倉地区はやま湖周辺を会場に、大倉行政区並びに村体育関係機関等のご協力を得て、男子8チーム、女子4チームの計12チームの参加で実施しました。

来年は20回目を迎えますので、村体育関係機関等と協議しながら記念大会を検討していきます。



▲力走する各チームの選手たち

飯館村フルマラソン日本陸連公認認定コース設置事業

日本陸連認定コースを設置することにより、村民のスポーツに対する関心を高め、競技力向上を図る一方、日本陸連認定コースを持つ優位性を生かしながら、村にある資源（自然・施設・人）を活用して、村外のアスリート・愛好者の誘客を図り、地域活性化及び経済効果に寄与することを目的としています。

5月28日に設置実行委員会を発足し、現在、コース選定、活用方法を検討しているところです。